

# イエス団報

## 賀川精神の継承

常任理事 木村 量好



一 妻保育園の創立七〇周年記念集会有り日本キリスト教保育所同盟を代表して祝辞を述べる機会が与えられた。

一 妻保育園は農民福音学校や新年聖修会の会場として賀川精神伝承の場としてイエス団の関係者にとつては忘れ難い信仰の道場のようなどころである。現園長の梅村貞造先生はそこに賀川先生の記念碑を建て、その除幕式も同時に行なわれた。

賀川豊彦全集第二十四巻（最終巻）の身辺雑記によると賀川先生のキリスト教幼児教育に寄せる思いが随所に読みとれた。吉田源次郎牧師・園長のもとで主任の植生操先生が自然に秘められた創造の神秘を入念に実体験を通して子どもと共に遊びの中で学習を重ねられた姿がよみがえってきて当時の情景が目にかぶるようであった。これこそ今に新しいキリスト教保育の大切な中身だと感じた。数年前、東京の上北沢にある松沢記念館を連れ合いと一緒に訪ね

た時に賀川先生が伝道旅行先で歩いて集められた石の標本が整理されてあるのを見て驚いた。これは結晶体による分類でそこに創造の神秘を読みとられて半端なものではないことを実感させられた。その時もつとすごいと驚いたことは、実は私も二人が1948年頃に賀川先生の講演を聴いてキリスト教にふれて入信したのであるが、その時の日記帖のような記録書があつて伊予北条と小松島でそれぞれつかまつたことが記録されていた。集会の数と決心者の数がキツキツと書かれていて頭の下がる思いをした。

さて賀川先生との出会いを何らかの形でされた皆様方お一人おひとりには賀川先生の精力的で生命的な諸活動を見て身にしみて思われることが各々にあるに違いないと思う。私の場合、賀川先生のキリスト教信仰への源泉は復活のイエスとの生命運動として実感されている。余りにも超人的な歩みみからである。

私の場合、徳島市の当時、小松島町の小学校で聴いた賀川先生の講演は戦後の混乱期に目的もつかめないまま生きていた自分に光として導かれた思いがあるし、今も

◆発行者 雄雄者 今井集 編者 黒田 行所 神戸中央区 百五通 5-5-20 社会福祉法人 学校法人 イエス団

TEL: 078-221-9565  
FAX: 078-221-9566

復活のイエスの生命を受け継いで元気をもらい続けているといえる。

聖書でいえばヨハネ福音書二〇章十九節から二十三節であるが、賀川先生のキリスト教信仰の基は勝手ながらここにあると思つてい

る。実は私の恩師小川秀一先生からもこの個所がポイントだと教えられ賀川先生の信仰運動の原点はこれだなど確信するようになった。

「お前の信仰の根拠は何だ」と問われたら臆せず「これだ」と復活の主にまみえて喜んだ弟子の姿を披露することになっている。

信仰というのは日常の実生活の現場で主イエスの生きて働き給う恵みの現実を聖霊のたすけによつて証しすることだと考えている。

復活は人間の知恵によつては「愚かな幻想」としか受けとれない。そういうリアリティである。それにもかかわらず云いがたい救いと自由と喜びが湧き出して「自分たちは復活の主の証人だ」と生命をかけてこの現実（リアリティ）に固く建つたのである。「これが教会の力だ」と云いたい。

賀川先生の信仰はオーソドックスでしかもエキスモニカルだし代々の教会はこの復活のイエスの生命的リアリティに立って宣教したのだといえる。

今こそこの復活の信仰に根ざした生命的な賀川精神を継承して、折りつつ与えられた務めにはげみたいものである。

## 賀川豊彦と私

小池 基信

私の場合、賀川先生との関係は直接ではなく、父を通しての間接的關係になります。

父からは、賀川先生の「死線を越えて」は私の生まれた家で書かれたと聞いています。多分父が原田の森にあつた関学中学部に通つていた時代でしょうか。神戸の青谷にあつた大きな西洋館の家です。書生として下宿していたということですが、定かなことは分かりません。

敗戦後、甲南教会の庭で父と賀川先生と握手している写真が残っています。「死線を越えて」の話にしても私は「ふーん」と言つて聞き流してしまいました。今思えば、もつと詳しく聞いておけばよかつたと後悔しています。

父は阪神大震災で自宅は全壊。瓦礫の中から取り出した物の中に賀川先生から頂いたサイン入りの聖書がありました。その後私は父の告別式でその聖書を手に式辞を述べたのです。イエス団で仕事をすることになった今不思議な思いがします。

最近「ナオミ荘だより」を送つたところ、東京大森めぐみ教会名誉牧師、岩村信二先生からお便りを頂き、前の日曜日合同礼拝で、賀川先生のことを語つたところだ、と書いてありました。岩村先生の話、私の言葉も加えて少し紹介します。

賀川先生は官憲に追われるようになり、賀川番の巡査は逐次賀川の様子を伺つていました。しかし賀川先生は何一つ悪いことせず、むしろ困つた人を助けたり、神様のお話しをしている。賀川番の巡査は、自分も話を聴きたく思い聴くようになりました。やがてその巡査は署長になりました。その息子勝弘さんは私のいた甲南教会の伝道集会のチラシを見てジュニア・チャーチに出席するようになり受洗。同志社神学部から、これまた私の後任として大森めぐみ教会の副牧師となり、現在福島県白河で知的障害者のための福祉施設牧人会の理事長として活躍されている山下勝弘さんなのです。

賀川番巡査、山下降夫さんは晩年白河に移り住み、岩村先生と話をされた時「私が賀川番の巡査をしていた山下降夫です」と名乗られたそうです。その後洗礼を受けられたのです。神の御業のすごさを感じさせます。

賀川豊彦と私は、このような間接的な関りですが、イエス団の施設に来るにあつて、手元にあつた一冊の本を読みました。神戸学生・生年センター編で「賀川豊彦の全体像」です。五名の人たちが、それぞれのテーマに沿つて講演された記録です。同志社の創立者新島は、伝道と教育一筋でしたが、賀川は多方面にわたる活動をしています。それだけに失敗や挫折がありました。

賀川豊彦から継承すべきものをつつかりと継承し、反省するところは反省していきたいと思つています。

● 社会福祉法人の動き

1. 理事会の報告

(定員11名、現員11名)

今年度は計4回の理事会を開催し、26の議案について討議しました。

① 5月29日、二〇〇〇年度の事業報告、決算など8議案

② 10月4日、神戸保専学則変更の1議案

③ 1月25日、役員改選、本部事業計画、施設長人事など10議案

④ 3月14日、役員改選、補正予算、事業計画、当初予算、委員の選出など7議案

2. 評議員会の報告

(定員27名、現員24名)

評議員会は2回しか開催できませんでしたでしたが、12の議案を討議しました。

① 5月29日、二〇〇〇年度の事業報告、決算など5議案

② 3月14日、監事改選、補正予算、事業計画、当初予算、施設長人事など7議案

3. 常任理事会の報告

常任理事は、大変忙しいスケジュールのなか、常任理事会を7月から12月の間、4回開催しイエス団の諸々の運営上の問題を討議、中でも、イエス団の組織改革については、二〇〇二年度の組織決定の準備段階として集中的に討議を重ねてきました。

① 7月11日、イエス団将来計画、鳴門記念館への協力策など10議案

② 8月17日、イエス団組織改革について、くずは光の子入札についてなど8議案

③ 10月10日、イエス団組織改革について、ペイオフ対応についてなど7議案

④ 12月7日、イエス団組織改革について次回理事会議題など5議案

4. 企画委員会の報告

企画委員も多忙な日常の業務外に7回の委員会を開催し、雲柱社との合同中堅職員研修会の企画立案をはじめ、運営上の諸問題についての対応策立案等に取り組みました。又、期の途中より4名の参画により戦力アップを計りました。

① 4月26日、5議案

② 6月14日、7議案

③ 8月1日、6議案

④ 9月20日、8議案

⑤ 11月12日、3議案

⑥ 1月17日、4議案

⑦ 2月14日、5議案

5. 編集委員会の報告

イエス団報 再刊3号を、二〇〇一年8月1日に発刊しました

6. 研修会の報告

今年度は理事長をはじめ、常任理事、企画委員のご協力を得て、以下の研修会を開催しました

① 第5回 会計研修01年7月27日、(35名参加)

② 合同中堅職員研修 01年11月12日、14日、於、神戸フルーツクラブパーク(雲柱社14名、イエス団36名参加)、講師 島田恒先生、

平山豊先生

③ 新任施設長研修 01年9月27日、於、真愛ホーム、(6名参加)

④ 新任職員研修 02年3月25、26日、於、関西セミナーハウス(42名参加) 講師 長尾文雄先生

7. 施設長人事

・01年12月31日付 豊島ナオミ荘 / 夏目昊一園長退任(02年1月1日、小池基信園長就任)

・02年3月31日付 みどり野保育園 / 高見真澄園長退任(02年4月1日、廣田和浩園長就任)

・02年3月31日付 神視保育園 / 竹内正枝園長退任(02年4月1日、牧田稔園長就任)

・02年3月31日付 くずは光の子保育園 / 石田広子園長退任(02年4月1日、石田正宣園長就任)

8. 役員他の改選

二〇〇二年四月〜二〇〇四年三月の間、以下の皆さんがイエス団の役員、評議員、委員として選出されました、どうぞよろしくお願

い致します。

・理事長：今井鎮雄

・常務理事：村山盛嗣

・理事：石田正弘、小川 居、木村量好、黒田 絢、斎藤 宏、田中芳三、鞍 好子、高村 勤、山口政紀(11名)

・監事：中村良平、吉田 撰(2名)

・評議員：今井鎮雄、村山盛嗣、石田正弘、小川 居、木村量好、黒田 絢、斎藤 宏、田中芳三、鞍 好子、長谷川進一郎、梅村貞造、真部マリ子、仲澤一彦、祐村明、山口 房江、小川佐和子、神谷羊子、谷 孝子、難波俊子、白川由紀子、森 彬、吉田洋子、山口政紀、緒方 彰(定員27名、現員24名)

・企画委員：仲澤一彦、祐村 明、二宮英喜、牧田 稔、石田正宣、升崎丈夫、小川真奈、平田 義、谷孝子、木村 耕、品川卓也、黒田信雄、(12名)

・編集委員：黒田 絢、黒田信雄、梅村貞造、石田正宣、木村 耕、(5名)

9. その他の事項

\*会計ソフトの統一に入り、集計作業の機械化、様式の統一などOA化が図られました。

造、真部マリ子、仲澤一彦、祐村明、山口 房江、小川佐和子、神谷羊子、谷 孝子、難波俊子、白川由紀子、森 彬、吉田洋子、山口政紀、緒方 彰(定員27名、現員24名)

・企画委員：仲澤一彦、祐村 明、二宮英喜、牧田 稔、石田正宣、升崎丈夫、小川真奈、平田 義、谷孝子、木村 耕、品川卓也、黒田信雄、(12名)

・編集委員：黒田 絢、黒田信雄、梅村貞造、石田正宣、木村 耕、(5名)

\*会計ソフトの統一に入り、集計作業の機械化、様式の統一などOA化が図られました。

\*鳴門賀川記念館への協力として、3月に二〇〇〇千円を寄付いたしました。(内一八六一千円は施設・個人からの募金によるものです)

\*今年度、真愛ホーム 5周年、天使の園 50周年、ガーデン天使 10周年を迎えられました。

\*くずは光の子保育園 改築竣工式の記念式典を三月二十一日にもたれました。

\*懸案の定款変更は、昨年度兵庫県へ予備資料を提出したまま進捗はありませんでした。

● 学校法人の動き

1. 理事会・評議員会の報告 (理事定員8名、現員8名)

(評議員定員17名、現員17名)

01年度、以下の通り4回の理事会(内3回は評議員会合同)が持たれ、二葉幼稚園の運営上の諸問題につい

て討議しました。

① 5月29日(理事、評議員会) 00年度決算事業報告など3議案

② 7月11日(理事、評議員会) 土地購入計画状況報告など3議案

③ 1月25日(理事会のみ) 役員・評議員辞任の件、土地購入完了報告など4議案

④ 3月14日(理事、評議員会) 補正、事業計画、当初予算など4議案

2. 用地購入について

昨年度より取り組んできた園庭用地を購入、01年9月10日移転登記完了し、現在すでに園庭として活用中です、保護者からも感謝の言葉を頂きました。

(1)面積：四〇五・一八㎡(一二二・五六坪)、幼稚園北隣り(西宮市甲子園三保町41)

(2)購入費用 一五〇、〇〇〇千円 (3)借入金 九〇、〇〇〇千円(私学事業団) 利率1.7%、20年返済

3. 理事他の交代人事

任期途中ですが、辞任の申出により、以下の交替がありました。

・理事：賀川純基退任、木村量好就任

・監事：山崎善雄退任、中村清就任

・評議員：緒方 彰、賀川純基退任、森 彬、長谷川其枝就任、(任期は02年4月から03年3月)

● その他特記事項

1. 今井理事長が01年9月、神戸市社会福祉協議会の理事長に就任されました。

(報告：本部事務局)

再刊 第4号 (2)

## 各ブロックの動き

## 【兵庫ブロック】

**神視保育園**：素敵なベツト付きの保健室ができました。水はけの悪かった園庭も改修され、室外運動はOK。給食改善の栄養管理ソフトを導入。健康を守る三点セットで「ゴー」。

**一麦保育園**：創立七十周年を記念して園庭に記念碑を建てました。表面には賀川先生の描かれた画。裏面には一麦発祥の由来を刻んだものです。ぜひ一度見にお越しください。

**のぞみ保育園**：ガンで亡くなった卒園児の二人の子どもを記念して植えたブルーベリーの木に花が咲き、小さな実がたくさんつきました。いのちの証しです。

**神戸保育専門学院**：今年の一年生は三二名。一八歳から二十八歳までの学生が在籍。この年齢差は程良いバランスを保ち落ち着きのある学院生活を生み出している。

**甲子園二葉幼稚園**：昨年十月に隣接地四〇五・一八mを購入。園庭が広くなりました。広い砂場にサッカーのゴールも加わり、子ども達は大喜びです。

**真愛ホーム**：三年毎に見直される介護報酬の単価が、入所系については下がりが、ホームヘルパー等は上がるとの声。やりくりが又苦しくなりそう。

**天隣乳児保育園**：アレルギー対応の食事をより充実したものに。地域に向けての「チャレンジクッキング」で調理実習。カロリー計算ソフトにも挑戦中です。

**杉の子保育園**：花の日札拝のあと、

五才児が消防署を訪問、副署長より火災予防の話聞く。その後八階まで届く梯子車に乗せてもらい大喜びでした。

**みどり野保育園**：園庭の固定遊具を新調しました。古い遊具の撤去時には、土中の鉄製部分に相当の腐食が見つかりました。隠れた部分を含めての安全点検の大切さを痛感しています。

**友愛幼児園**：五月下旬、震災で中止していたOB会（卒園児保護者、退職、現職員）を再開し、立食パーティーで懐かしい交わりの時を持ちました。

**賀川記念館**：九月と一月に各種団体と共に「ボランティアの先駆者・賀川豊彦と関東大震災」の特別展を好評のうちに開催いたしました。

## 【四国ブロック】

**坂出育愛館**：5階の産院の後を可愛く改装し、コンピュータ教室、「まなぶくん」の部屋として週一回4・5歳児が学んでいる。4歳児は5階へのあこがれに目を輝かせて上がる姿も、「文字と数っておもしろい」楽しい時間で保護者にも大好評です。

**豊島神愛館**：一月からはじめた保護者・里親のための「子育て学習」の一環として、6月22日（土）に親子遠足が行なわれた。場所は高松市の「さぬきこども園」。保護者家族が5人参加し、楽しい一日を過ごした。

**豊島ナオミ荘**：8月末までシヨート・ステイ3床の増設工事。9月から使用開始。入居者・職員からアンケートをとり、改善計画を立案中。その一環としてガーデン天使、真愛ホームと合同研修を8月に実施。その準備中。

**光の子保育園**：徳島市の通勤圏に位置している関係で人の流れが激しくなっ

ています。入退園が頻繁にあつて、子ども達への影響もちよつと心配です。新しい感覚の家庭へのアプローチの仕方に困難さを感じています。

## 【大阪ブロック】

**愛之園保育園**：子育て支援センターこひつじランドだより、サークル支援の一環として「お母さんボランティアデー」を始めました。初回は十組参加、お誕生会用プレゼントや工作準備、パネルシアター作りなど和気あいあいと良い雰囲気！

**天使の園保育園**：50周年のイベントと記念誌の発行をしました。今後これを生かしてもつと地域との繋がりを、記念誌の続編の発行を準備したい。

**馬見労働保育園**：園舎外壁・事務室等の改修やセコムの設置を行い、カリキュラム・児童表などの見直しをし、新年度を迎えています。

**ケアハウス楠葉新生園**：枚方くずは教会に、4月より宇野緑伝道師が就任しました。どうぞよろしく。各施設の連帯を保つ役割として主事的な働きをしています。教会・地域センター・保育園・ケアハウスの四つの関係を密にし、地域活動を活発にするために年に3回共同の機関紙を9月に発行の予定です。

これからのイエス団にとって、世代交代にともなつて、設立当初の精神の継承と「各教会と施設」との関係が重要な課題になってきます。

イエス団内部で討議を深め、良い結論を出して、継承していきたい。

**くずは光の子保育園**：園舎老朽の為改築し、4月1日より定員を120名に増員し、運営しています。

石田広子先生から石田正宣に園長を交代しました。

## 【京都ブロック】

重症心身障がい者通所事業（B型）「シサム」開所！

今年度四月より、向島で新しい事業が始まりました。その名も重症心身障がい者通所事業（B型）「シサム」！アイヌ語で「隣り人」という意味なんです。

ここ京都・向島の地に、障がい児の通園施設「空の鳥幼児園」が開設されてから二十五年目を迎えようとしております。その間、様々な障がいを持った方が数多く卒園されていきました。

その中に、いわゆる重症心身障がい者、すなわち「重度の身体障がい」と「重度の知的障がい」を併せ持っている方がおられます。

また、重症心身障がい者で、常時痰の吸引が必要な方、経口で食事を摂ることができずに鼻からチューブを入れている方、呼吸が十分にできないために気管切開をされている方など、医療的なケアが必要な方も少なくありません。

そのような方々にとって、養護学校卒業後に通える場所を確保することは至難の業でありました。そのニーズに応えるべく誕生したのが、重症心身障がい者通所事業「シサム」であります。京都市内で二カ所目の通所事業です。

アイヌの人たちが、初めて和人（日本人）と出会った時に「シサム」と呼んで暖かく歓迎をしました。私たちも「あな

たの隣り人を愛せよ」とのイエスの教えを実践する者として、利用される方々一人一人を隣り人として愛し、暖かくお迎えをしたいと考えています。

今後とも、皆さまのお祈りに加えていただければ幸いです。



イエス団の施設 ⑥

保育所

いちばく 保育園

- ◎住所／西宮市高木東町一―一〇
- ◎創立／一九三二年四月一日
- ◎定員／一五〇名
- ◎施設長／梅村貞造



◆◆◆DATA◆◆◆

最奇りの交通機関：阪急電鉄「西宮北口駅」下車、北東方面に徒歩12分  
TEL 0798-67-2775 FAX 0798-67-1893

賀川豊彦先生がその名作小説『一粒の麦』の印税収入をもとにこの地に農民福音学校のための「一麦寮」を、又その東隣に芝八重氏の寄付による「ヤヘシバ館」を建てられて、農村託児所が開設されたのが始まりです。今年創立七十年を迎え、さる六月一日には今井理事長のほか大勢の方々を迎えて記念式を行ないました（写真）。五二〇〇名の卒園児を送り出し、近頃では親子三代が当園の卒園生という家族も稀でなく、地域に根ざした児童福祉施設として貢献してきました。近隣地域は阪神淡路大震災により多大の被害を被りましたが、西宮北口駅前の再開発並びに地域全体の区画整理が一段と進んで、地域の環境は一変しました。創立当時から恵まれた自然環境が次第になくなりつつあることや、駅周辺の塾、予備校の群立に象徴される子どもを取り巻く環境の変化の中で、少しでもゆとりのある、心豊かな子育ての支援ができればと思っています。

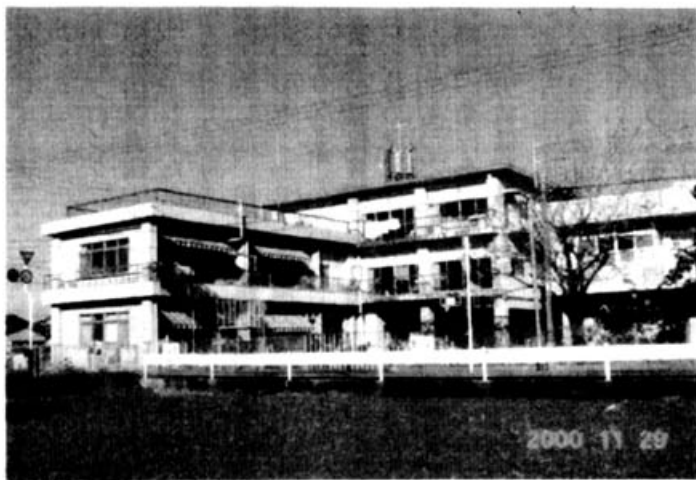


イエス団の施設 ⑦

保育所

光の子 保育園

- ◎住所／徳島県名西郡石井町石井五五六番地五
- ◎創立／一九六三年九月一日
- ◎定員／九〇名、現員／一〇三名
- ◎職員数／二五名（非常勤職員を含む）
- ◎施設長／黒田 絢



◆◆◆DATA◆◆◆

最奇りの交通機関：JR徳島線「石井駅」下車東へ徒歩約5分  
TEL 088-674-2530 FAX 088-674-2578

賀川先生が郷土・徳島の地に伝道と地域福祉の拠点としてローガン記念館を建てました。今から四十五年前のことです。伝道所に併設する形で保育園も始めました。その後昭和三二年に60名定員で認可を受け、昭和五〇年には定員を90名に。建物も鉄筋コンクリート造りになりました。昭和六二年、施設開設時に牧師・園長として赴任した黒田保郎牧師は、新しい教会堂の献堂式を見守った後、急逝。引き継いだ現園長のもと、賀川精神を根本にキリスト教保育を続けています。

平成十二年、保育センターを建設、手狭であった乳児室を独立、一時保育にも対応できる器も与えられました。無認可時代より含め千名を越える卒園生を送り出し、一年に一度のバザーは卒園生、在園家庭からの沢山の寄付品にあふれる名物行事にもなっています。激変の時代にあつて、良き伝統を継承しつつ変化をおそれず、前を向いた保育園を目ざしています。

《編集後記》

※少しづつ新しい体制に慣れて落ち着きを感じられるのであればありませんか。

※第4号をお届けします。お忙しい中、原稿をお寄せいただいた皆様、ありがとうございます。(信)